



平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年4月28日

上場会社名 ビーピー・カストロール株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5015 URL <http://www.bpcastrol.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小石 孝之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務経理部長 (氏名) 渡辺 克己 (TEL) 03(5719)7870
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の業績（平成26年1月1日～平成26年3月31日）

(1) 経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	2,932	9.1	407	△25.4	418	△23.2	247	△21.9
25年12月期第1四半期	2,686	0.6	546	△8.3	544	△7.6	316	△4.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	10.76	—
25年12月期第1四半期	13.77	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	13,312	10,487	78.8
25年12月期	13,710	10,643	77.6

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 10,487百万円 25年12月期 10,643百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	5.50	—	17.50	23.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	10.00	—	13.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	6,145	0.3	947	△23.3	961	△22.0	560	△22.5	24.42
通 期	13,491	0.9	2,213	△13.8	2,240	△12.6	1,307	△10.5	56.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期1Q	22,975,189株	25年12月期	22,975,189株
② 期末自己株式数	26年12月期1Q	17,046株	25年12月期	17,046株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期1Q	22,958,143株	25年12月期1Q	22,958,143株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	P. 2
(1) 経営成績に関する定性的情報.....	P. 2
(2) 財政状態に関する定性的情報.....	P. 2
(3) 業績予想に関する定性的情報.....	P. 2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	P. 3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	P. 3
3. 四半期財務諸表.....	P. 4
(1) 四半期貸借対照表.....	P. 4
(2) 四半期損益計算書.....	P. 5
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	P. 6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	P. 6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府主導による金融緩和政策や消費増税に備えた各種経済政策を背景に、企業収益の改善や雇用情勢の持ち直しなど緩やかな景気回復の動きが見られました。一方、海外経済は、緩やかな回復を見せるものの、アメリカの金融政策の行方、欧州政府債務問題、ウクライナ情勢等の地政学的リスクの高まりなど、引き続き先行きは不透明な状況で推移しております。

自動車業界におきましては、小型・ハイブリッドの低燃費車並びに軽自動車消費者からの根強い支持を集めております。新車販売台数に関しましては、アベノミクスによる資産効果や4月からの消費増税前の駆け込み需要などから自動車・軽自動車ともに前年同期比増となりましたが、先行きについては増税後の反動減が見込まれ、個人消費の不確実性や景気腰折れの懸念など、厳しい経営環境が継続しております。

このような市場環境の下、自動車用潤滑油の販売面では、当社の強みである環境配慮型の低粘度・省燃費のプレミアムオイル、並びにオートマチックミッション用オイルの拡販に引き続き焦点を当て、高付加価値商品の構成比向上を図ってまいりました。また、昨年カーショップチャネルに導入した新製品エンジンシャンプーの販売をカーディーラーにも拡げ、オイル交換時に、時間をかけずにエンジン内洗浄が手軽に行えるという特長により、エンジンオイル関連製品への拡販も図りました。

この結果、当第1四半期累計期間における売上高は2,932百万円、営業利益は407百万円、経常利益は418百万円、四半期純利益は247百万円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は、12,541百万円（前事業年度末は12,898百万円）となり、357百万円減少いたしました。これは、主に受取手形及び売掛金（1,031百万円の減少）、商品及び製品（433百万円の増加）、短期貸付金（98百万円の増加）及び未収入金（78百万円の増加）によるものです。（なお、貸付金の内容は、BPグループのインハウス・バンクを運営しているビーピー・インターナショナル・リミテッドに対するものであります。）

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は、770百万円（前事業年度末は811百万円）となり、40百万円減少いたしました。これは、主に有形固定資産（15百万円の減少）及び投資その他の資産（19百万円の減少）によるものです。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は、2,734百万円（前事業年度末は2,976百万円）となり、241百万円減少いたしました。これは、主に未払金（203百万円の減少）、未払費用（97百万円の増加）及び未払法人税等（187百万円の減少）によるものです。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は、89百万円（前事業年度末は90百万円）となり、0百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、10,487百万円（前事業年度末は10,643百万円）となり、155百万円減少いたしました。これは、主に利益剰余金が四半期純利益により247百万円増加し、剰余金の配当により401百万円減少したことによるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成26年12月期の業績予想につきましては、平成26年2月4日公表の業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	93,553	112,690
受取手形及び売掛金	2,964,364	1,933,275
商品及び製品	574,869	1,007,941
原材料及び貯蔵品	33,153	35,787
前払費用	29,706	70,300
繰延税金資産	315,997	315,997
短期貸付金	8,407,317	8,505,908
未収入金	470,224	548,700
その他	9,669	10,923
流動資産合計	12,898,855	12,541,524
固定資産		
有形固定資産	368,825	353,520
無形固定資産	108,267	102,508
投資その他の資産	334,479	314,703
固定資産合計	811,571	770,732
資産合計	13,710,427	13,312,256
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	989,076	1,057,392
未払金	899,617	696,322
未払費用	561,573	659,010
未払法人税等	368,921	181,137
預り金	10,862	74,440
賞与引当金	117,004	40,355
その他	29,063	25,908
流動負債合計	2,976,118	2,734,567
固定負債		
繰延税金負債	62,941	62,256
受入保証金	27,540	27,542
固定負債合計	90,482	89,798
負債合計	3,066,600	2,824,366
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,491,350	1,491,350
資本剰余金	1,749,600	1,749,600
利益剰余金	7,397,640	7,242,942
自己株式	△6,489	△6,489
株主資本合計	10,632,101	10,477,402
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,724	10,487
評価・換算差額等合計	11,724	10,487
純資産合計	10,643,826	10,487,890
負債純資産合計	13,710,427	13,312,256

（2）四半期損益計算書

第1四半期累計期間

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自平成25年1月1日 至平成25年3月31日）	当第1四半期累計期間 （自平成26年1月1日 至平成26年3月31日）
売上高	2,686,873	2,932,553
売上原価	1,324,816	1,624,035
売上総利益	1,362,056	1,308,518
販売費及び一般管理費	815,673	901,069
営業利益	546,382	407,448
営業外収益		
受取利息	6,954	6,734
受取賃貸料	3,862	1,287
受取手数料	3,347	3,936
受取補償金	976	562
為替差益	—	4,615
その他	265	399
営業外収益合計	15,407	17,535
営業外費用		
売上割引	5,842	6,481
為替差損	11,350	—
その他	—	18
営業外費用合計	17,193	6,499
経常利益	544,595	418,484
特別損失		
固定資産除却損	103	—
特別退職金	15,189	—
特別損失合計	15,293	—
税引前四半期純利益	529,302	418,484
法人税等	213,089	171,415
四半期純利益	316,213	247,068

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。